

不こ来ぬ乎か薬やく師しは釜かまの座ざ二条上る西側にしにあり。本尊ほんぞんは比叡山ひえいざん伝教でんきやう大師だいし一いつ刀たう三禮さんらい七尊しちぞん彫刻てうこくし給ふ、日本にっぽん七佛しちぶつの一いつ躰たいなり。

往昔むかし美濃みの国のくに横倉よこくらに一院いついんの設け安置あんじし奉る其頃そのころ尾張おわり国のくに山田郡やまだぐんに何某なんま右馬うま允明うけあきら長ながとて武士ぶしあり。明暮あけくれ尊敬そんけうし奉しに承久三年

夏五月なつご京鎌倉きやうかまくらの戦いくさに所々ところどころ高名たか有あしか弋くひ瀬川せがわの戦いくさに深手ふかて負まか既すでに最期さいきに及およぶ時とき此薬師このやくし一人ひとりの僧そうと化かして草くさをもみあたへ給ふ。

明長あきらなが是こゝを腹はらすれば立所たちどころに疵きず平愈ひらし本国ほんこくに帰かへりしと沙石集しゃせきしゆに見みえたり又寛喜二年あきら夏六月なつごより寒氣かみはげしく極寒ごくかんのごとくな

れば疫癘えきれい流行はやりし死しするもの世よに多おほし然しかるに此薬師院主このやくしゐんしゆの夢ゆめに告つげて宣のたまひ一切いっけつの衆生しゆじやう我前わがまへに來きば諸病しよびやう悉除しつじゆべきにこぬ

かくとありしかば感涙袖かんだいすそに余あまりて世よに是こゝを触知ふらしむに貴餞群集きせんぐんしゆし参詣さんぎの輩たぐひ疫病えきびやう忽平愈たちひらす後に織田おだ信長のぶなが岐阜ぎふ在任ざいにんのと

き斎藤山城守さいとうやましろのかみ此薬師このやくしを今いまの所ところに移うつすと也なり。夫こゝより都鄙とひの貴賤きけん数多かずおほ信仰しやうぎやうし靈驗れいげんある事委記じゆゑきしがたし。